

ぼうさい通信 Vol.88



毎月16日は「防災教育啓発の日」

令和7年6月16日発行
熊本県立湧心館高等学校

今月のテーマ 落雷事故の防止について

昨年4月上旬、県立高校のサッカー部員が県外遠征中に落雷に遭い、2名が被害に遭いました。そのうち1名は現在も意識が戻っておらず、たいへん痛ましい事故となりました。さらに今年4月にも、奈良県にてサッカー部に所属する中学生が活動中に落雷の被害を受けるとい事故が発生しています。

このような事故を繰り返さないために、今月の「ぼうさい通信」では、落雷事故を未然に防ぐための知識と対策について改めてお伝えします。

【落雷について】

雷とは、雲の中で発生した電気が放出される現象です。雷はどこにでも落ちる可能性があります。特に高い場所や開けた場所に落ちやすい性質があります。野球場、山頂、グラウンドなどでの活動中に「直撃雷」に遭うと、命に関わる極めて危険な事態となります。

また、雷が樹木などに落ちた際に、その近くにいる人へ電気が飛び移る「側撃雷」も危険です。雨宿りで木の下に入るのは非常に危険ですので絶対に避けてください。

遠くで雷の音が聞こえた段階で、すでに危険な状況です。雷がいつ自分の近くに落ちてもおかしくないと考え、ただちに避難を開始してください。

【積乱雲が接近した際の特徴】

雷が近づく兆しとしては、以下のようなものがあります

- ・ 真黒な雲が近づいてくる
- ・ 雷の音が聞こえてくる
- ・ 突如として冷たい風が吹き始める



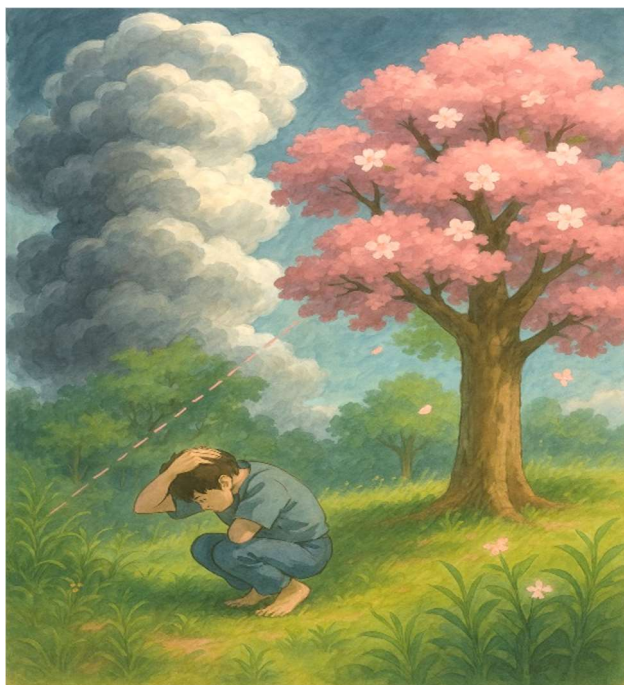
【避難の際に気をつけること】

積乱雲の接近を感じたら、屋外での活動を中止し、安全な場所に避難してください。

屋内にいる場合も、窓から離れて過ごしましょう。避難先としては、鉄筋コンクリートの建物や車の中など、電気を通しにくい場所が適しています。

万一、安全な場所への移動が難しい場合は、以下の点に注意してください：

- ・姿勢を低くし、できるだけ体の接地面積を小さくする
- ・高い木や構造物からは、少なくとも4メートル以上の距離をとる



【落雷に関する情報確認】

落雷のリスクを避けるには、日頃から天気予報を確認する習慣をつけ、雷注意報・警報が出ていないか確認することが大切です。

気象庁ホームページでは、雷注意報の発表状況や、落雷の可能性が高まっている地域を地図で確認できる「雷ナウキャスト」などの情報が提供されています。これらの情報を活用し、事前の安全対策に努めましょう。

雷ナウキャスト

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/toppuu/thunder2-1.html>

QRコード



以上の点を参考に、雷の際にも冷静に対応することを心がけてください。何よりも周囲の状況を目で確認して安全を第一に行動されますようお願いいたします。

【文責 全日制防災担当】

過去のぼうさい通信を見ることができます

◎ぼうさい通信(毎月16日発行)

本校HPにアクセスしてみよう。

<https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>

くまもとマイタイムライン(デジタル版 マイタイムライン)は、

<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline/#/>で作成可能です。